

維持保全計画（30年間）

点検部位		主な点検項目	定期点検年次 (建築工事完了後)	臨時 点検	定期的な お手入れ等	更新・取替の時期、内容
主要 構造 躯体	基礎	コンクリート基礎 (立上り部)	10年目、 20年目、 および 30年目	(地震・台風後) 被害状況により実施	—	建替時に更新
	土台 床組	床フレーム・下地			—	建替時に更新
	軸組 横架材	柱(ポスト) 天井フレーム			—	建替時に更新
	小屋組	屋根束、屋根梁 屋根フレーム、トラス 母屋木、野地板			—	建替時に更新
屋根・ 外壁・ 開口部 等	屋根	瓦葺き シート防水	10年目、 20年目、 および 30年目	(地震・台風後) 被害状況により実施	15年で全面補修	30年以降、全面更新を検討
	外壁	サイディング壁 (窯業系)			15年で全面補修 (シーリング材含む)	建替時に更新
	雨樋	雨樋			15年で全面補修	30年以降、全面更新を検討
	軒裏	軒裏天井			15年で全面補修	30年以降、全面更新を検討
	開口部	屋外に面する 開口部			日常の調整、清掃	30年以降、全面取替を検討
設 備	配管 設備	給水管	10年目、 20年目、 および 30年目	(地震・台風後) 被害状況により実施	漏水時は直ちに補修	30年以降、全面取替を検討
		排水管			漏水時は直ちに補修	30年以降、全面取替を検討

留意事項等：

- 地震時や台風等の災害後は、被害状況により、必要に応じた臨時点検を行う。
- 点検結果によっては、劣化状況に応じ適宜、維持保全方法について見直すことができる。
- 長期優良住宅建築等計画に変更があった場合、必要に応じて維持保全計画の変更を行う。
- 点検結果を踏まえ、必要に応じて、調査、修繕または改良を行うこととされている。

